

2018.8 vol.13

みんなの力で浦和美園駅から岩槻駅へ地下鉄をつなごう!

SUBWAY NEWS LETTER

回覧



さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会 第13号

「総会・講演会」を開催!

活動目標に「国への認可申請の早期実現」を掲げ効果的な事業展開に意欲

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会(会長 江田元之)の平成30年度 総会並びに講演会が開催されました。総会では、平成29年度の諸活動の報告、延伸地域の関係機関とのさらなる連携強化と「国への認可申請の早期実現」を目標とした平成30年度 予算・事業計画が承認されました。

また、講演会では、「地下鉄7号線延伸事業化の現状と早期実現への課題と展望」と題し参議院議員 古川俊治氏より、採算性では国の補助制度適用の基準を上回った経緯から、沿線開発の課題をはじめ地域が一体となる重要性やこれからの展望について講演を頂きました。

- 開催日 平成30年5月25日(金) 午後2時より
- 場 所 浦和ロイヤルバインズホテル
- 参加者 184名

なお、当日は、さいたま市の清水市長、新藤市議会議長をはじめ、国会議員、市議会議員等のご来賓、期成会会員の皆様など多数の方にご参加いただき、盛会裏のうちに終了いたしました。



講演する 古川俊治議員



「会場の様子」

江田会長

総会 あいさつ

開会に先立ち挨拶した江田会長は、当期成会が設立して丸5年が経過するなかで、延伸の扉を開く最も重要な年として、特に重点事業として取り組んだ、国土交通省をはじめとする関係機関への要望活動を報告。

併せて、本年2月にさいたま市が設置した「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会」の再試算において、需要予測と費用対効果が、国の補助制度の適用の目安を上回ったことが公表された内容に触れ、「こうした大きな進展は、期成会会員をはじめ、さいたま市民、関係各位のご尽力の賜物」と改めて感謝の意を述べました。

さらに、「期成会としても、こうした進展を契機と捉え、事業認可の着手・実行に向けて、オールさいたまの応援団として引き続き全力を尽くしていきたい」と述べ、さらなる意欲を示しました。



江田元之会長

清水さいたま市長

実務レベルでの連携協議でさらに前進目指す

清水市長は、期成会活動への感謝を述べるとともに、延伸実現を求める地元の皆様の熱意を感じている。平成28年度 交通政策審議会の答申で示された課題の解決に向けて、さいたま市が設置した「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会」で鉄道と沿線地域のまちづくりについて意見を頂き、いくつかのケースを設定し試算をした結果、事業性で都市鉄道等利便増進法適用の一般的な目安となる基準を超え、延伸実現の可能性が確認できた。このことは、延伸実現に向けて明るい兆しがみえ大きく前進したと考えている。

一方で、延伸実現に向けては様々なプロセスを経ていく必要がある。

引続き埼玉県と共同で調査を進めるとともに、事業化に向けて実務レベルでの関係機関との連携協議などさらに全力で取り組んで参りたいとの力強いご挨拶を頂いた。



清水勇人市長 来賓祝辞

来賓及び紹介

さいたま市長 清水 勇人 様
さいたま市議会議長 新藤 信夫 様
さいたま市議会副議長 井上 伸一 様
さいたま市議会まちづくり委員会委員長 武山 広道 様
さいたま市議会 広域的交通ネットワーク特別委員会 委員長 神坂 達成 様

さいたま市議会議員 江原 大輔 様
さいたま市議会議員 新井 森夫 様
さいたま市議会議員 吉田 一志 様
参議院議員 古川 俊治 様
参議院議員 矢倉 克夫 様(代理)
参議院議員 行田 邦子 様(代理)
衆議院議員 牧原 秀樹 様(代理)

衆議院議員 村井 英樹 様(代理)
衆議院議員 田中 良生 様(代理)

埼玉県知事 上田 清司 様
埼玉県議会議長 齊藤 正明 様
前衆議院議員 武正 公一 様

埼玉高速鉄道(株)を訪問

延伸地域の魅力あるまちづくりに向けて意見交換

5月17日(木)、埼玉高速鉄道(株)荻野社長を表敬訪問いたしました。当期成会からは、江田会長、阿部監事、さいたま商工会議所からは、佐伯会頭をはじめ安藤副会頭、高橋副会頭が出席しました。

冒頭、あいさつに立った佐伯会頭は、これまでの期成会活動をはじめ、延伸実現に必須である国の事業認可の基準となる採算性の目安をはじめ上回ったことなど、延伸実現への環境が整ってきていることを報告し、地域のさらなる発展に向けた延伸の必要性についての考えを示しました。荻野社長からは、地域が一体となった期成会活動に敬意を示されるとともに、埼玉高速鉄道線が取組む地域の活性化策をはじめ、地下鉄の使用促進に向けた各種の事業活動について説明を頂きました。今後も、こうした懇談を通じ、地域の発展・活性化という共通の目的に沿った、魅力あるまちづくりに向けて意見交換を行っていくこととしました。



詳細・お問合せは下記まで

●期成会事務局が下記住所に移転しました

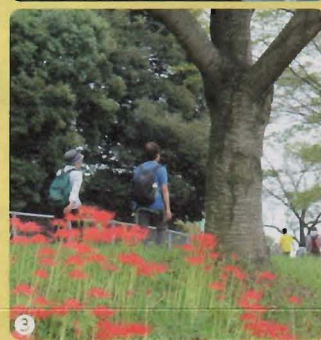
さいたま商工会議所 まちづくり支援課
〒330-9626 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
TEL:048-641-0084 FAX:048-643-2720

●期成会サイト

地下7 延伸期成会 検索

で検索(さいたま商工会議所ホームページからどうぞ)

写真で振り返る 平成29年度の主な事業



- 1 さいたまクリテリウム 2017サイクルフェスタでPR活動
- 2 岩槻やまびきまつりでPR活動
- 3 日光御成街道 ふれあいウォーキング
- 4 岩槻まつりでPR活動
- 5 乗車会 「地下鉄7号線で行く! 都内周遊ツアー」
- 6 岩槻城下町鷹狩り行列でPR活動
- 7 特別講演会 「さいたま市の今後のまちづくりと交通施策について」
- 8 役員会・事業推進委員会の様子

平成30年度 事業計画

自:平成30年4月1日 至:平成31年3月31日

【活動目標】国への認可申請の早期実現に向けて

延伸実現には、国の都市鉄道等利便増進法適用が必須であり、これまでどうしてもクリアできなかった需要予測及び費用対効果について、本年2月、さいたま市が設置した地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会において、初めて適用の目安を上回ることが公表された。こうした実現の大きな前進は、当期成会をはじめとするこれまでの地道な延伸活動の成果である。

今後は、行政や鉄道事業者等の関係機関での調整に委ねる部分が多く、当期成会活動もその推進状況に応じた柔軟で効果的な活動が求められる。平成30年度においては、地下7協議会での検討結果をふまえ、課題解決のための改訂「成長・発展プラン」の推進状況を把握しながら、延伸地

域の関係機関との連携を深め、国の認可申請手続き着手を促す効果的な事業を展開する。

具体的には、行政やSR等の関係機関との意見交換会をはじめ、その進捗状況の報告会の開催、さらには当期成会が「取組みの課題のひとつとして捉えている、中間駅周辺の都市計画策定に向け、沿線大学をはじめとする関係機関と連携した新たなまちづくり構想の具現化」に取組む。

また、継続した陳情・要望活動による働きかけをはじめ、目標の明確化・一体感を醸成する決起大会やメディア等を活用した効率的な情報発信を推進し、これまでも増して、行政や経済団体等と本期成会が一体となって、延伸の早期実現に取組む。

1 延伸に向けた取組の現状把握と課題解決への支援・取組み

- ① 中間駅周辺の都市計画策定に向けた新たなまちづくり構想の具現化
- ② 行政・関係機関との意見交換会の実施
- ③ 延伸への取組み状況に応じた報告会・決起大会等の開催

2 陳情・要望・提言活動

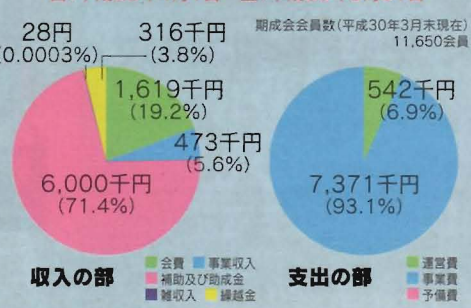
- ① 国への認可申請の実現に向けた働きかけの強化

3 機運醸成・啓発事業

- ① 会報誌、ホームページ等による延伸活動の情報発信
- ② その他延伸に資する取り組み

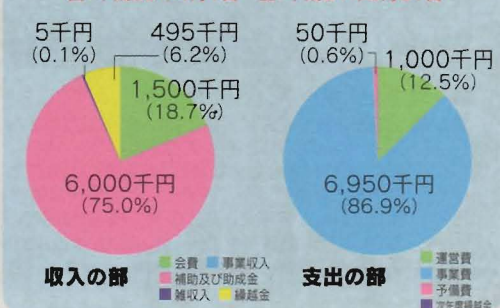
平成29年度 収支決算 (8,408千円)

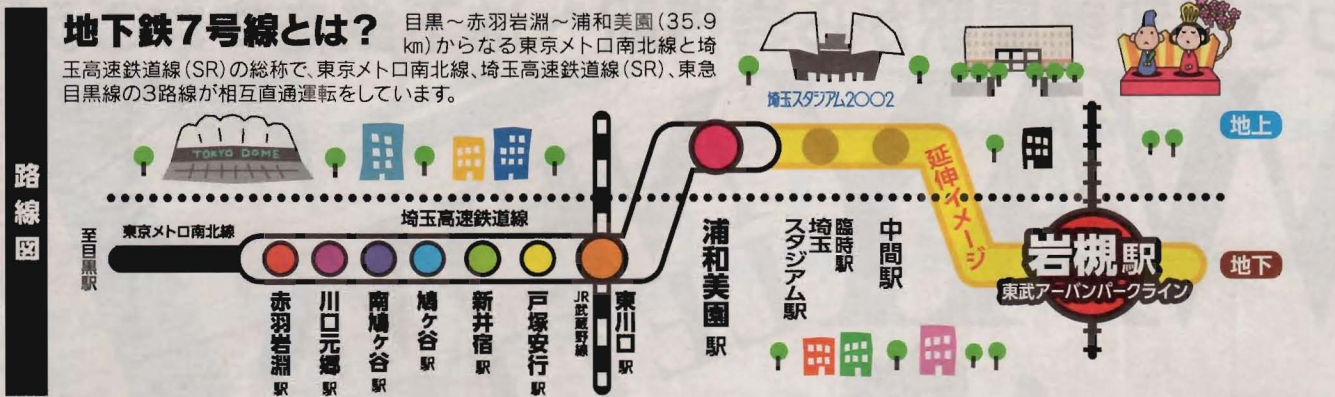
自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日



平成30年度 収支予算 (8,000千円)

自:平成30年4月1日 至:平成31年3月31日





鉄道今昔物語

【旅客の安全確保】 第10話

先日、東海道新幹線で大変痛ましい事件が発生しました。同線では2015(平成27)年にも走行中に放火される事件が発生し死傷者が出ています。

現在、首都圏の多くの駅構内や車両では、多数の防犯カメラが装備されています。意外にも気付かないかも知れませんが、券売機や改札付近などにもカメラが付けています。これらは、痴漢や暴行などの事件の抑止、事後の検証などに効果を発揮しています。

しかし、今回のような自暴自棄犯に対しては、殆ど効果は無いように思います。このような犯罪に対して、現状で一番効果的と思われる対応策は、「人の目」ではないでしょうか?

犯人にとって一番怖いのは、目的を阻害される「人の目」。そして、この「人の目」に該当する一つが、制服を着た警備員や警察官の存在です。

しかしながら警備員は人件費という、鉄道社局にとって頭の痛い問題が発生します。また、鉄道警察隊は、残念ながら要員が僅少で活動範囲も狭く、上手く運用されているとは思えません。

著者紹介

鉄道ジャーナリスト
わたなべ しえ
渡部 史絵氏



2006年より公式に鉄道のお仕事を開始。鉄道の有用性や魅力を発信するため、鉄道に関する書籍の執筆や監修に日々励む。月刊誌や新聞等の連載や寄稿など執筆活動を主体に、国土交通省をはじめ、行政や大学、鉄道事業者にて、講演活動等も多く行っている。

著書に、『関東私鉄 デラックス列車ストーリー』『電車の進歩細見』『首都東京 地下鉄の秘密を探る』『進化する路面電車』『鉄道なぜにブック』(交通新聞社)、『写真で振り返る JRダイヤ改正史』(飛鳥出版)、『譲渡された鉄道車両』『路面電車の謎と不思議』(東京堂出版)、『鉄道のナゾ謎100』『鉄道のナゾ謎99』『思い出の昭和50年代国鉄特急』(ネコ・パブリッシング)など、多数。

公式ブログ <http://ameblo.jp/shie-rail>
公式ツイッター <https://twitter.com/shierail>

が考えられます。列車が止れば、乗務員の指示の上、車外に避難することも可能になります。

また携帯電話は、必ず何かの役にたつ筈ですので、カバンなどに入れず衣服のポケットなどに入れるように心掛けましょう。

今回、車掌が「シート座面を外して盾にして」と放送したそうですが、このような万が一の際のHow Toを鉄道社局も予め公表しておく必要があると思います。

地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会の報告について

①協議会の目的

交通政策審議会答申第198号で示された課題解決に向け、鉄道とまちづくりの専門家等構成される「地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会」を設置し、延伸の事業性及び沿線まちづくりについての御意見を頂きました。

②地下鉄7号線延伸の事業性の定量的評価(B/C・採算性)

地域の成長・発展に伴い地域特性を考慮した「すう勢ケース」を基本とし、沿線開発、埼玉スタジアム駅常設化、快速運転の3つの条件を組み合わせた各ケースを設定しました。

No.	ケース名	B/C		採算性
		30年	50年	
1	すう勢ケース	0.8	0.9	46年
2	沿線開発ケース	0.9	1.0	38年
3	沿線開発ケース+埼玉スタジアム駅常設化ケース	0.9	1.0	55年
4	沿線開発ケース+快速運転ケース	1.1	1.2	18年
5	沿線開発ケース+埼玉スタジアム駅常設化+快速運転ケース	1.1	1.2	20年

B/C:費用便益比。一般に費用対効果とあらわされることもある。
採算性:累積資金収支黒字転換年
都市鉄道等利便増進法適用の一般的目安
B/C>1.0、採算性≤30年

③地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会の総括

まとめ 延伸事業の可能性及び課題が明らかになりました。

主な課題 沿線開発、埼玉スタジアム駅常設化、快速運転など

今後の展開を見据えた意見 事業化(事業着手)までにはいくつかのプロセスがあり、今回の試算結果で直ちに事業化できるものではないが、延伸事業の課題も明確になり、今後深度化を行う上で関係者が同じ方向を目指して進んでいくことが肝要である。

国土交通省及びさいたま市、さいたま市議会へ要望書を提出

～事業着手決断に向けて行政機関への働きかけを強化～

●国土交通省への要望

と き:第1回 平成30年1月16日(火)午後3時00分より
第2回 平成30年3月14日(水)午後2時40分より
場 所:国土交通省
提 出 先:国土交通大臣 石井 啓一、国土交通副大臣 牧野 たかお
鉄道局長 藤井 直樹

要望内容:地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸の早期事業化実現について

①埼玉高速鉄道線の各駅路線の鉄道整備が促進されるよう、都市鉄道等利便増進法における補助制度の拡大及び、社会情勢に応じた許可要件の緩和
②埼玉高速鉄道線の延伸地域を、首都圏広域地方計画における緊急輸送ルートの拠点として位置づけ、広域交通ネットワークの強化と強靱なまちづくりに向けた、都市基盤整備事業への積極的な支援

●さいたま市、さいたま市議会への要望

と き:平成30年1月18日(木)午後4時30分より
場 所:さいたま市長室、さいたま市議会議長室
提 出 先:さいたま市長 清水 勇人、さいたま市議会議長 新藤 信夫

要望内容:地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸の早期事業化実現について

①さいたま市・さいたま市議会、地下7期成会が一体となった延伸の早期事業化の実現
②地下鉄7号線延伸の事業着手に向けた早期決断
③延伸を目的とした整備基金の拡充
④都市鉄道等利便増進法の適用に向け、中間駅の開発計画の見直し・策定をはじめ大学付属病院の進出計画など、延伸実現における前提条件の再精査による費用便益比及び採算性の算出
⑤地下鉄7号線延伸事業化に向けたタイムスケジュールの明確化

平成29年度特別講演会

実施日 平成30年3月24日(土) 14:00～15:30
場 所 大宮サンパレス 5階 クラージュ 参加者 222名
主 催 さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会、さいたま商工会議所
後 援 さいたま市、蓮田市

特別講演「さいたま市の今後のまちづくりと交通施策について」

講 師 さいたま市長 清水 勇人 氏

概 要 さいたま市が将来都市像に掲げる「多彩な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市」の実現に向け、今後のまちづくりと交通施策について説明。

また、さいたま市が今年度新たに設置した地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会において、需要予測と費用対効果の再算定により、都市鉄道等利便増進法の適用のための目安を上回ったことを受け、今後は、実務者レベルの関係機関との連携協議の場を設置するなど、新たな方針が示された。なお、本特別講演会第1部では、さいたま市市史編さん審議会委員の青木義典氏を講師に、城下町の歴史や文化等、地域資源を活かしたまちづくりについてお話を頂きました。

第4回 いわつきマルシェ in 目白大学

地元食材を使って
多世代で食文化交流を楽しむ

- 岩槻産獲れたて食材を使った地元団体の出展
- 地元農家による新鮮野菜販売

開催日 平成30年 10/28(日)
午前10時30分～15時00分(予定)

会場 目白大学 岩槻キャンパス オープンエアステージ

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会

「地下鉄7号線の延伸」を「オールさいたま」で応援する組織です。

主に自治会、経済界、沿線大学、スポーツ界等の幅広いメンバーで構成されています。

― 期成会が行うこと ―

1. 調査・検討事業を行ない、さいたま市へ事業提案をいたします。
2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用促進に向けた事業を行います。
3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

― 期成会に参加するには ―

趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業者の方は、賛助会員としてご加入(会費無料)できます。

詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

さいたま市地下鉄7号線延伸事業化推進期成会役員名簿			
(任期:平成30年4月1日～平成32年3月31日)			
役 職	氏 名	名 称・役 職	
顧 問	秋谷 文男	信越化学工業株式会社代表取締役副会長	
	宮本 雅弘	曙ブレーキ工業株式会社理事	
	安野 清	株式会社ベルーナ代表取締役社長	
会 長	江田 元之	さいたま商工会議所相談役	
	佐伯 鋼兵	さいたま商工会議所会頭	
	清水志摩子	さいたま観光国際協会会長	
	小川 逸郎	さいたま商工会議所副会頭	
	安藤 嘉明	さいたま商工会議所副会頭	
	高橋 三男	さいたま商工会議所副会頭	
	井原 貴	さいたま商工会議所副会頭	
	齋藤 英一	見沼区自治会連合会会長	
	鈴木 甫	緑区自治会連合会会長	
	三次 宣夫	岩槻区自治会連合会会長	
	大郷 恒吉	さいたま市商店会連合会会長	
	田中 泰治	岩槻商店会連合会会長	
	石田 優蔵	埼玉中央青年会議所担当常任理事	
	小澤日出行	岩槻工業団地事業協同組合理事長	
	大久保秀子	浦和大学学長	
	沢崎 達夫	目白大学学長	
理 事	久住 眞理	人間総合科学大学学長	
	淵田 敬三	浦和レッドダイヤモンズ代表取締役社長	
	森 正志	大宮アルディージャ代表取締役社長	
	白倉 秀輝	見沼区長	
	並木 義和	緑区長	
	宮寺 昭彦	岩槻区長	
	山田 祐司	さいたま商工会議所政策委員会委員長	
	川村 郁夫	さいたま商工会議所街づくり・観光委員会委員長	
	新井 久夫	岩槻区形協同組合理事長	
	齋藤 進	さいたま市野球連盟連合会会長	
	浜野 洋子	さいたま商工会議所女性会会長	
	村上 武白	さいたま商工会議所青年部会長	
監 事	長野 晋隆	さいたま商工会議所岩槻支部支部長	
	松永 大祐	さいたま市建設協会副会長	
	阿部 順平	さいたま観光国際協会専務理事	
	矢部 憲春	さいたま商工会議所専務理事	

さいたま市からお知らせ

浦和美園駅⇔岩槻駅の移動には、ぜひ「快速バス」をご利用ください。

浦和美園駅

目白大学

岩槻駅

地域間の連携強化と移動の創出、アクセス強化による埼玉高速鉄道線の利用促進・移動実態の検証などを目的として「快速バス」が運行中。浦和美園駅で埼玉高速鉄道に乗り換え、そのまま都心へ。お出かけには、便利な「快速バス」と「埼玉高速鉄道」をご利用ください。

地下鉄7号線延伸地域「散策マップ」

地下7期成会では、浦和美園駅～岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現にむけての啓発活動の一環として、延伸線地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。

東京五輪2020競技大会をはじめ各種国際・世界大会の開催を見据え、外国人観光客への散策マップを作成しています。

また、本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム(絵文字)入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅～岩槻駅間を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介します。

(市内の各区役所窓口等で配布しております)